



# 神奈川県パイロット事業

介護現場革新会議資料

令和2年3月5日



本県では、黒岩知事のリーダーシップのもと、「いのち輝く神奈川」の実現を目指して、特徴的な施策を発信してきた

介護ロボット  
開発・導入支援

さがみロボット産業特区での**ロボット実用化**

介護ロボット**公開事業所**

介護職員の  
負担軽減

ロボットスーツ**HAL**を**100**台導入

神奈川**らくらく介護宣言**

介護の質の向上

かながわ**ベスト介護セレクト20**

優良介護サービス事業所「**かながわ認証**」

介護の仕事の魅力発信

かながわ**感動介護大賞**



生産性向上パイロット事業

## ■ 本事業により目指すもの

### 施設 = 生産性向上

- 専門業務に特化
- 総労働時間の減少
- 生み出した時間を支援の充実に

### 職員 = 負担軽減

- らくらく介護
- 健康維持、身体的・精神的負担の軽減
- スキルアップ
- 就業継続・定着へ

### 利用者 = 質の高い介護

- QOLの向上
- 自立度、ニーズ・生活習慣に合ったサービス提供
- 安心安全で快適な介護

## ■ 実施事業

①施設でのロボット・ICT実証実験  
(記録支援・見守り支援・移乗支援・  
排泄支援・コーチング支援)

②大学と連携した音楽活動のマニュアル化

③介護施設用記録ソフトの開発に向けた協働

④AIを活用したケアプラン点検の試行

⑤かながわ感動介護大賞

生産性向上パイロット事業の実施にあたっては、「神奈川県介護現場革新会議」を設置して、事業計画の検討や評価の確認を行った。

	神奈川県介護現場革新会議 委員
施設代表	神奈川県高齢者福祉施設協議会
	神奈川県老人保健施設協会
	神奈川県認知症高齢者グループホーム協議会
医療関係者	神奈川県医師会
関係団体	神奈川県社会福祉協議会
既導入施設	神奈川県介護ロボット公開事業所
事業実施施設	特別養護老人ホーム 介護老人保健施設 認知症対応型共同生活介護 有料老人ホーム
有識者	介護保険制度関係の有識者
行政	神奈川県
	横須賀市

## 記録

(特養・訪問介護)

- 記録のデジタル化・一元化及びタブレット等の導入による記録ソフトの効率的な活用



## 見守り

(特養・老健)

- 見える化（バイタルチェック、眠りを解析）されることでスタッフの精神的負担を軽減
- 身体を動かすことが困難な方の寝返りを支援



## 移乗

(特養)

- バッテリーを必要としない軽量型で、違和感なく装着でき、身体的負担が軽減



## 排泄

(グループホーム)

- 数値で表示、通知することで適切なタイミングでのトイレ誘導が可能



## 研修の効率化

- アプリにより職員の介護場面を撮影し、共有した動画上で指導することにより介護技術を共有



◆ 実証期間

令和元年 9月30日から12月13日まで

◆ 対象施設

6 施設（特別養護老人ホームなど）

◆ 総括

実証の結果、職員の多くが継続的な使用を希望しており、  
ICT・介護ロボットへの高い期待が確認された。

## 記録

※特別養護老人ホーム 寿湘ヶ丘老人ホーム

### ■ 導入機器

- ・ 持ち運び可能なiPad 等の端末を使い、その場で介護記録が入力できるシステム。

### ■ 実証結果

- ・ ICTを活用して介護サービスの内容等を記録することで、作業時間の削減が認められた。
- ・ 訪問介護事業所では、1日50分/人の作業時間の削減が確認された。

### ■ 介護職員の声

- ・ 紙媒体での記録に比べ負担が軽減した。
- ・ 他部署との情報共有が容易になり、職種間の連携が円滑になった。
- ・ 手書きでの記録には戻りたくない。



NDソフトウェア(株)『ほのぼの』

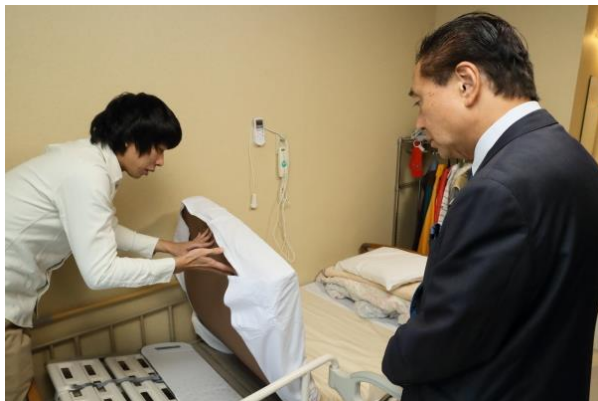


(株)ロジック『Care-wing 介護の翼』



※特別養護老人ホーム みなみ風  
介護老人保健施設 リバーイースト

## 見守り



令和元年11月26日 知事現場訪問

リアルタイムモニター



パラマウントベッド(株)『眠りSCAN』

### ■ 導入機器

- ・ マットレスの下にセンサーを敷いて心拍数等を測定し、モニターで利用者の状態を把握する。

### ■ 実証結果

- ・ 夜間の見守りにセンサーを活用することで、睡眠状態が見える化し、ケアのタイミングが的確になるといった効果が認められた。

### ■ 介護職員の声

- ・ 夜間帯業務における心身の負担が軽減した。
- ・ 利用者の眠りの妨げ防止に繋がる。

## 見守り

※特定施設入居者生活介護 ラヴィール座間谷戸山公園



フランスベッド(株)  
『自動寝返り支援ベッド』

### ■ 導入機器

- ・ 自動運転の寝返りサポートにより、身体を動かすことが困難な方の寝返りを支援する

### ■ 実証結果

- ・ 多頻度での体位変換が可能となった。
- ・ 皮膚の状態も問題なく、利用者本人からも負担や違和感はなく、これまで通り、よく眠れているとの回答が得られた。

### ■ 介護職員アンケート結果

- ・ 導入前後で身体・心理負担が大きく軽減した。
- ・ 導入後に仕事の満足度が変化したかについて、69%が満足との回答。

※特別養護老人ホーム 寒川ホーム

## 移乗



(株)加地『レイボ』

### ■ 導入機器

- ・かがむ時に蓄えた力を、身体を起こすかに活用して移乗をサポートする。
- ・ゴムの張力を利用して移乗をサポートする。

### ■ 実証結果

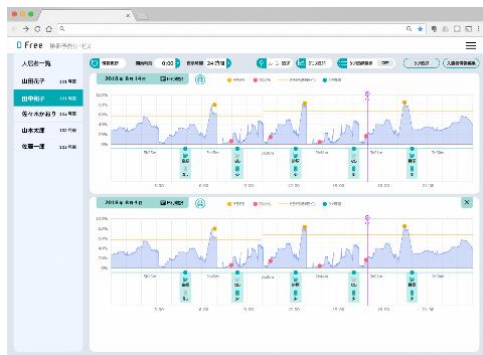
- ・腰痛がない介護職員と比べ、腰痛がある職員の方が効果を実感していることが確認された。
- ・体格差がある利用者と介護職員の場合に、より効果が発揮されることが確認された。

### ■ 介護職員の声

- ・腰痛予防になる。
- ・異性や他人が使用したものを着用するには抵抗感がある。


 (株)スマートサポート  
 『スマートスーツ』  
 Kanagawa Prefec

## 排泄



### ■ 導入機器

- ・膀胱の膨らみを超音波センサーで常時計測し、排泄を予測する。

### ■ 実証結果

- ・要介護度が重度な高齢者に対して、より効果が発揮されることが確認された。

### ■ 介護職員の声

- ・適切な排泄誘導のタイミングを計るには、利用者ごとのデータを蓄積し、職員の経験と併せて個別に分析することが必要。

トリプル・ダブリュー・ジャパン(株)  
『D Free』

Kanagawa Prefectural Government

※特別養護老人ホーム 寿湘ヶ丘老人ホーム、寒川ホーム

## 研修の効率化

### 1. マニュアルにしたいシーンの動画を撮影



### 2. ケアコチで共有



## ■ 導入機器

- ・ 介護場面を動画で記録して共有する。  
職員間の介護技術の伝承、OJTや集合研修の効率化を実現する。

## ■ 実証結果

- ・ 研修の効率化に加え、利用者の状態を動画で共有するなど、業務全般における情報共有ツールとしての効果が認められた。

## ■ 介護職員の声

- ・ 口頭では伝わりづらい内容を動画で正確に伝えられるのは良い。
- ・ スマートフォンを使用する際、利用者や家族がどう感じるか不安がある。

## 内容

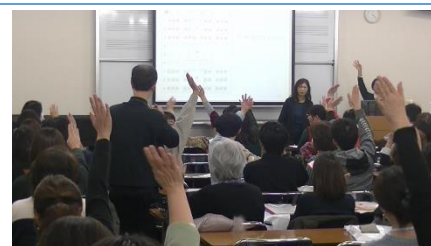
音楽大学との協働事業による「音楽活動サポートかながわモデル」の作成  
 →効果的な音楽活動を提供し、利用者のQOLや心身機能の維持・改善を目指す（令和元年度、2年度の2箇年事業）

## 実績

- 12月21日に、マニュアルを活用した音楽活動について、施設職員向けの研修会を開催

### 【内容】

- ・音楽療法士が紹介する“カラオケ”の工夫
- ・日常の体操と食前体操に活かす音楽
- ・音楽レクに活かせる手作り楽器等の紹介 ほか



- ・音楽活動の実証施設と意見交換し、留意点や課題について聞取り

## 今後の取組

- ・音楽活動のシンポジウムを開催し、実証施設等による事例報告など、事業成果を報告（2月22日開催予定分は延期）
- ・今後、新たな実証施設を募集し、音楽活動の支援や職員へのレクチャーを実施予定
- ・実証施設での課題を踏まえ、今後もマニュアルの改訂、充実を行っていく

## 内容

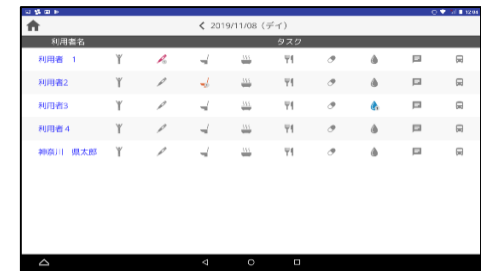
簡単な操作で、介護をしながら入力可能な介護記録ソフトを  
ソフトウェア会社、介護保険施設、行政 3 者の協働で開発  
→デジタル化による記録の負担軽減を加速

## 実績

- ① 開発に協力する施設とソフトウェア会社を県がマッチング
- ② ソフト開発に関心のある施設にヒアリングし、施設の課題や希望を把握
- ③ 施設側意見に加え、行政側の意見など必要な情報を集約
- ④ ソフト会社が既存の「訪問介護・看護用記録ソフト」  
をアレンジして、必要な機能を反映



## 新たな介護記録ソフト（第一フェーズ）の開発

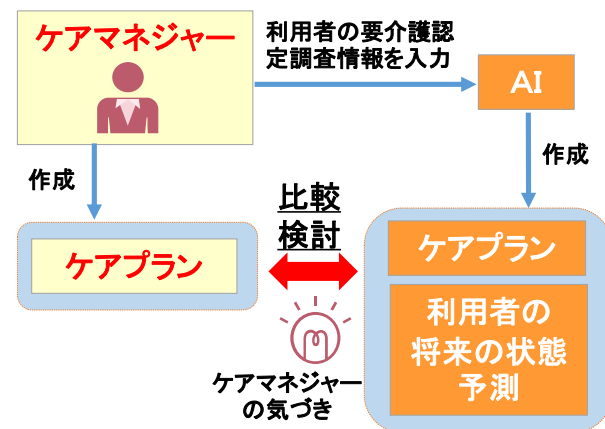


## 今後の取組

- 「介護×テクノロジー」活用セミナーで展示予定  
その他ロボットセミナー等でも展示予定
- 実証実験を実施し、介護現場や各関係団体から意見・希望を収集して  
これらの結果をフィードバックすることで、ソフトの開発・改良を継続

## 内容

- 市町村が実施するケアプラン点検において、AIが自立支援の観点から提示するケアプランとケアマネジャーのケアプランを比較・検討
- ケアマネジャーの「気づき」を促し、ケアプランの質の向上を図る



## 実績

- ケアプラン点検では、グループワーク形式で「なぜAIがこのプランを提案したか」を中心に話し合った。

<ケアマネジャーからの意見>

- ◆ ケアプランの見直しのきっかけになった
- ◆ 利用者の背景を知りすぎているからこそ、AIが提示するシンプルな視点に気づかされた
- ◆ AIと協働することでケアマネジメントの質の向上や業務の効率化が期待できる
- ◆ 背景を踏まえて本人の選択に基づく調整を行うのはケアマネの仕事

- ケアプラン点検を通じて、「気づき」が得られたと回答したケアマネジャーが半数を超え、1割以上のケースについてケアプランを見直すとの回答が得られるなど、ケアプランの質の向上につながった
- ケアプラン点検の実施手法として市町村職員研修で事例を共有



介護現場で起きる小さな「感動」のエピソードに光をあて、介護の素晴らしさを多くの人に伝える

介護を受けた高齢者やご家族から介護にまつわる感動的なエピソード185点の応募があり、最優秀賞1作品、優秀賞5作品を表彰



【「介護フェアinかながわ」での表彰式】

エピソードの作品集を作成

ドキュメンタリー番組をテレビ放映

応募作品集・番組DVDを、県内の介護保険施設・事業所や学校等に配布

ホームページやFacebook等を通じて情報発信

**介護の仕事の魅力を発信**

実証施設で得られた成果を周知し、  
県内の介護施設における介護ロボット等の導入促進を図る

①「介護×テクノロジー」活用セミナーの開催

②実証施設におけるロボット・ICT機器の活用状況の公開

# 「介護×テクノロジー」活用セミナーの開催

◆参加人数 100名

介護施設職員・施設管理者等を対象

## ◆内容

- 講演
- 実証施設によるパネルディスカッション
- 介護ロボット・ICT機器の体験展示会
- 県のロボット導入補助金の説明

**in Kanagawa**  
「介護×テクノロジー」  
活用セミナー  
～介護ロボット・ICTによる介護現場の革新～

介護ロボットやICT(介護ソフトウェア等)の活用をはじめ、介護現場にテクノロジーを取り入れる動きが目立っています。しかし、(導入すればよい)から(導入したもののうまく活用できていない)といった声も少なくありません。「介護職員の高齢化」や「ケアの質の向上」に繋がる効果的な活用方法と一緒に考えませんか?  
神奈川県補助金に関する説明も行います!

**講演「テクノロジーが介護現場を変える!」**  
講師：株式会社三野総合研究所 ヘルスケアウェルネス事業本部  
ヘルスケアデパート戦略グループ 主任研究員 川原 万寿子 氏 / 講師 橋本 氏  
実演：介護分野における生産性向上に関する調査研究事業  
介護事業所におけるICTの活用等によるサービス提供の支援に関する調査研究  
豊富な導入事例を交え、介護ロボットやICTの効果的な活用方法についてご講演いただきます。

**導入事業所によるパネルディスカッション**  
実用可能な機器や設備ソフトなど、介護ロボットやICTを実際に導入した施設の「生の声」をお届けします。

**「介護×テクノロジー」体験展示会**  
介護ロボットや設備ソフトなどを展示します。その場でメーカーの専門スタッフに相談することもできます。実際に触って体験してみませんか?  
この他にも多数の機器を展示予定です!

**展示機器(予定)**  
介護ロボット  
介護ロボット  
介護ロボット  
介護ロボット

令和2年3月25日(水) 10:00～16:00  
ウィング横浜 オフィスタワー12F(124-126研修室)



**補助事業と啓発事業とを組み合わせることで普及を推進**

## ■実証施設におけるロボット・ICT機器の活用状況の公開

### 介護ロボット公開事業所

既存の取組

- ロボットの活用状況を公開し、活用現場を体感する機会や機器導入のきっかけ作りの場



### ロボット・ICT実証施設（一部）

令和2年度  
(予定)

- 引き続きロボット・ICT機器の実証を実施
- 活用状況を公開



**ロボット・ICT機器の県内施設への普及推進**

- 介護ロボットは、サービスの質の向上や従事者の負担軽減につながることを期待される。
- 特別養護老人ホームにおいては、介護ロボットの一部の機器について人員基準を緩和することが認められた。



- I C T・テクノロジーの活用による、効果検証の結果を踏まえつつ、介護報酬での評価や人員配置基準の見直し等をさらに進める
- 今後も I C T・テクノロジーの導入効果を常に検証し、介護施設への導入につなげるためのインセンティブの恒常的な仕組みが必要

ICT・テクノロジー  
の開発

介護現場への  
ICT・テクノロジーの  
導入・活用  
(インセンティブとしての  
介護報酬での評価等)

効果の  
検証

## 神奈川県の実施事業

## ■ 実施事業

①施設でのロボット・ICT実証実験  
(記録支援・見守り支援・移乗支援・  
排泄支援・コーチング支援)

②大学と連携した音楽活動のマニュアル化

③介護施設用記録ソフトの開発に向けた協働

④AIを活用したケアプラン点検の試行

⑤かながわ感動介護大賞

## ■ 事業成果の県内施設への普及

①「介護×テクノロジー」活用セミナーの開催

②実証施設におけるロボット・ICT機器の活用  
状況の公開

## 今後に向けた提案

- ・ ICT・テクノロジーの導入効果を検証、介護事業者のインセンティブにつなげる  
ことで、常に改善していく仕組みの構築

笑顔あふれる介護現場